

インフォメーション・コーナー

会 告

- 平成 23 年度農業農村工学会大会講演会の開催について (第 1 報) ㊦70
- 「大地とともに一ある農用地技術集団の 55 年一」の刊行について70
- 学会創立 80 周年記念出版「改訂七版農業農村工学ハンドブック」の刊行について (再)70
- 学会誌および論文集の英文名の変更について70
- 英文誌の Journal@rchive 公開のお知らせ71
- 論文集の J-STAGE 公開と投稿時の振込金について71
- 学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集71
- 「農業農村工学会学術基金」への募金について72
- 農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録について72
- 四季折々の美しい農業農村工学における土木施設・構造物で表紙を飾ろう!!
「水土の知 (農業農村工学会誌)」平成 24 年秋季～冬季の表紙写真の募集73
- 「水土の知 (農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております!73
- 国際学会「国際水田・水環境工学会」への入会のお願いと国際ジャーナル
「Paddy and Water Environment」について74
- 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと
2009 年 1 月から 2011 年 12 月までの編集事務局 (投稿先) のお知らせ75
- 北海道支部第 35 回研修会の開催について ㊦75
- 北海道支部講習会の開催について (第 1 報) ㊦76
- 第 48 回材料施工研究部会シンポジウムの開催について (第 1 報) ㊦76
- 農業農村工学会論文集第 270 号内容紹介77
- 学会記事79

農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。奮って参加下さるよう、お待ちしております。

㊦のマークは、技術者継続教育認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成 22 年 12 月 16, 17 日	水土技術セミナー 実行委員会	第 27 回水土技術セミナー	㊦ 農業水利施設の機能保全の 基礎理論と実践	東京都	78 巻 10 号
平成 23 年 1 月 19 日	北海道支部	第 35 回研修会・講習会	㊦ 研修会：改革を迫られる北 海道農業	札幌市	78 巻 12 号
平成 23 年 3 月 4 日	材料施工研究部会	第 48 回シンポジウム	㊦ ストックマネジメント導入 における成果と今後の展開 (仮題)	東京都	78 巻 12 号
平成 23 年 9 月 6~9 日	大会運営委員会	平成 23 年度農業農村工学会大会講演会	㊦	福岡市	78 巻 12 号

第 79 巻第 1 号予定

展望：次世代育成の現状と課題：大堀忠至

小特集：次世代育成の現状と課題

- ①次世代教育としての大学生による小学生への環境教育：岡島賢治ほか
- ②愛媛大学農学部地域環境工学コースキャリア試行体験型授業：藤原正幸ほか
- ③農村工学研究所における研修の事例：技術者継続教育 (研修)：小嶋義次
- ④農村工学研究所における研修の事例：技術講習制度とインターンシップ：丸茂伸樹

技術レポート

- 北海道支部：サイホン補償工事の設計：依岡 進
- 東北支部：トンネル覆工のひび割れ調査：草薙弘樹
- 関東支部：酸性土壌区域の区画整理工事：内山安広ほか
- 京都支部：前川堤桜並木に配慮した排水路改修工事計画について：西浦成和ほか
- 中四国支部：もみ殻に替わる竹炭の暗渠疎水材としての利用可能性：柴崎一良ほか
- 九州支部：バイオリジカル・ソイル・クラストを用いた侵食防止対策：富坂峰人

小講座：MOT：上西 研

私のビジョン：農業農村工学の外観を眺めながら：山下良平

平成23年度農業農村工学会大会講演会の開催について (第1報)

大会運営委員会

技術者継続教育プログラム認定申請中



平成23年度農業農村工学会大会講演会は、九州大学箱崎キャンパスにおいて平成23年9月6日(火)～9月9日(金)に開催を予定しています。大会への投稿要項、参加申込み方法など、詳細は続報でお知らせいたします。

開会式および講演会：九州大学箱崎キャンパス
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

交流会：ホテル日航福岡

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-18-25

1. 開催期日 平成23年9月6日(火)～9月9日(金)
(9月9日(金)は現地研修会)

3. 講演会 平成23年9月6日(火)～9月8日(木)

4. 交流会 平成22年9月6日(火)

2. 会場

5. 現地研修会 平成23年9月9日(金)

「大地とともに—ある農用地技術集団の55年—」の刊行について

森林総合研究所森林農地整備センターの農用地部門は前身である農地開発機械公団の設立以来、半世紀以上にわたり農業農村基盤の整備において常に先駆的役割を果たしてきました。しかし、同センターの農用地部門は、現在実施中の事業の完了をもってその役割を終えようとしています。この「大地とともに—ある農用地技術集団の55年—」は、同センター内で記念誌として出版の準備を進めていたところ、農業農村工学の歴史として承継すべき出版物と考え、農業農村工学会が同センターとともに発刊することになり、下記のとおり10月末に刊行しました。

記

書名 大地とともに—ある農用地技術集団の55年—

体裁 B5判 9ポイント組 本文約430ページ

価格 定価7,000円(税込・送料学会負担)

会員特価4,500円(税込・送料学会負担)

※在庫がなくなり次第販売は終了となります。購入希望の方は、申込方法について連絡先にお問い合わせ下さい。

連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

(社)農業農村工学会事務局 図書係

☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494

E-mail: suido@jsidre.or.jp

学会創立80周年記念出版「改訂七版農業農村工学ハンドブック」の刊行について(再)

学会創立80周年記念事業の一環として、かねてより、改訂七版農業農村工学ハンドブック編集委員会(委員長:田中忠次(社)地域資源循環技術センター理事長)において編集作業を進めて参りました「改訂七版農業農村工学ハンドブック」について、農業土木学会から農業農村工学会への学会名称の変更等をふまえ「改訂六版農業土木ハンドブック」を改訂し「改訂七版農業農村工学ハンドブック」として8月末に下記のとおり刊行しました。

記

書名 改訂七版農業農村工学ハンドブック

体裁 B5判 8ポイント組 本文約1,250ページ

(本編約800ページ・基礎編約450ページの2分冊セット)

価格 定価20,000円(税込・送料学会負担)

会員価格16,000円(税込・送料学会負担)

申込先 〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

(社)農業農村工学会事務局 図書係

☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494

E-mail: suido@jsidre.or.jp

学会誌および論文集の英文名変更について

学会誌編集委員会・論文集編集委員会

学会誌編集委員会と論文集編集委員会では、それぞれの英文名について検討を行い、変更案について学会誌第78巻第6号において告知し、会員各員のご意見を伺ってまいりました。

その結果、第216回理事会(平成22年9月10日)におい

て下記のように決定いたしました。

第79巻第1号(学会誌は平成23年1月、論文集は平成23年2月)より新英文名に変更となります。

新英文名

英文誌の Journal@rchive 公開のお知らせ

Journal@rchive (ジャーナルアーカイブ) は、(独) 科学技術振興機構 (JST) で運用している科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE) のアーカイブサイトで、JST が実施している電子アーカイブ事業において電子化した学術雑誌を公開しています。

本学会の学会誌 (第 1 巻第 1 号～第 76 巻第 12 号)、論文集 (第 1 号～第 258 号)、英文誌 (Journal of Irrigation Engineering and Rural Planning, Rural and Environment Engineering (第 1 号～第 44 号)) はこの事業において対象誌として採択されており、順次公開の準備を進めております。

このたび、英文誌 (第 1 号～第 44 号) が公開されましたのでお知らせいたします。有効活用いただきますようお願い申し上げます。

下記 URL よりご覧下さい。

Journal of Irrigation Engineering and Rural Planning (1～30号) :
http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/jnltop_ja.php?cdjournal=jierp 1996

Rural and Environment Engineering (31～44号) :
http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/jnltop_ja.php?cdjournal=jierp 1982

論文集の J-STAGE 公開と投稿時の振込金について

論文集編集委員会

論文集の J-STAGE への登載について、かねてより準備を進めておりましたが、このほど準備が整い第 259 号以降が順次公開されています。平成 22 年 12 月末に第 263 号が公開され、その後は発行の 1 年後の公開となります。有効活用いただきますようお願い申し上げます。

下記 URL よりご覧下さい。

【J-STAGE トップページ】

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

【学会 日本語ページ】

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsidre/-char/ja>

【学会 英語ページ】

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsidre>

論文集の J-STAGE への登載に伴い、論文集投稿時の振込金に変更されています。投稿料 16,000 円を投稿時にお振り込み

いただいておりますが、J-STAGE への登載料 4,000 円 (J-STAGE への登載料は 5,000 円ですが、1,000 円は従来の投稿料から捻出することとし、4,000 円を新たに負担いただきます。) についてもあらかじめ徴収することとし、平成 22 年 4 月 1 日受付分より合計 20,000 円をお振り込みいただいております。

その理由としては、論文集の発行と同時に J-STAGE へ登載するために JST に支払う必要があるからです。

ただし、審査の結果、投稿論文等が掲載不適となった場合は、登載料 4,000 円は返金いたします。

なお、論文集 259 号以降に掲載された論文等についての登載料は遡って著者に請求させていただきますので、ご了承くださいたくよろしくお願い申し上げます。

学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集!!

行事企画委員会

技術者継続教育機構 CPD 運営委員会通信教育部会

学会誌を出典とした通信教育を平成 18 年 11 月より本格実施しております。学会誌購読による自己学習で最大年間 10 CPD ポイント、また、通信教育で最大年間 24 CPD ポイントが取得できますので、是非、通信教育にご参加下さい。

なお、学会誌 2 月号に掲載された通信教育問題から配点を改正 (正解率 70% 以上の場合 1.0 CPD ポイントから 1.5 CPD ポイントへ、正解率 100% の場合 1.5 CPD ポイントから 2.0 CPD ポイントへ) いたしました。詳細については、第 53 回通信教育問題 (学会誌 2 月号 65 ページ) をご参照下さい。

1. 参加会員の募集

参加をご希望の正・学生会員で、かつ CPD 会員の方は、農業農村工学会のホームページ (<http://www.jsidre.or.jp/cpd>) にある参加申込書に必要事項を記入してメール (E-mail : kaito@cpd.jsidre.or.jp) あるいは FAX (03-5777-2099) でお送り下さい。

なお、この機会に農業農村工学会、技術者継続教育機構への入会を希望される方は、同様にホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>, <http://www.jsidre.or.jp/cpd>) に申込様式がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。

2. 申込期限 参加は、いつからでも可能です。

3. 内容

問題は3カ月前の学会誌の報文等から、CPD 運営委員会通信教育部会が作成し掲載します。

問題は択一式で、毎回10問出題します。報文の事実的内容から作成し、回答はメール(E-mail:kaito@cpd.jsidre.or.jp)で機構に送信していただきます。

採点の結果、7割以上正解で1.5 CPD ポイント、満点で2.0 CPD ポイントが取得でき、CPD 会員の継続教育記録に自動的に登録されます。

解答は技術者倫理に則り、自らの責任において作成していただきます。

4. 参加費

学会会員のための行事の一環として実施するため、学会が必要経費を負担しますので、当分の間、通信教育参加費は無料です。

5. 通信教育受講者の特典

採点結果は自動入力されますので、毎年4月中に取得した点数を本人にお知らせし、5月上旬から希望により有料で「CPD 取得証明書」を発行します。

「農業農村工学会学術基金」への募金について

農業農村工学会は、農業農村工学の学術・技術の発展を通じて、わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし、昨今の日本の農業はかつてない厳しい環境におかれ、農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり、東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには、若い世代の育成、新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は、これら諸活動に資するものとして、平成3年4月に学術基金を創設し、これに上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し、さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金による助成は、平成21年度までに54件の実績をあげています。

個人会員一口 5,000円(何口でも可)

法人会員一口 50,000円(何口でも可)

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名(社) 農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてのお願い

災害対応特別委員会

農業農村工学会では、近年における地震、豪雨等による災害が各地で発生し、農地・農業用施設等に甚大な被害をもたらしている状況を鑑み、それら災害の原因究明、復旧対策工法の採用等に対する支援を行う組織として、災害対応特別委員会を設置しています。

この災害対応特別委員会では、「①農地・農業用施設に甚大な被害が発生した自然災害」、「②学術的見地から緊急調査が必要と判断される自然災害」に対して、災害発生後、直ちに災害対応調査団を派遣し、調査の実施、復旧支援を行う体制を整備しています。

そこで、災害対応調査団を組織しなければならない事態が生じた時に、早急に対応できるよう、調査団のメンバーに加わっていただける方は事前に登録をお願いします。審査の結果、登録された会員は、災害対応調査団候補者名簿(2年ごと更新)に記載して、緊急災害時等の場合に現地調査を行っていただきます。

なお、災害対応調査団の団員の資格および派遣の条件は、以

下のとおりです。

- ① 調査団の候補者は、高度な専門知識を有する農業農村工学会員とする。
- ② 派遣する調査団員は、候補者名簿の中から選定する。
- ③ 調査団の派遣期間は、原則2~3日とする。
- ④ 調査団派遣に関わる旅費は、農業農村工学会が後日精算する(年度予算限度額300万円)。
- ⑤ 調査団員に対して、調査に必要と考えられる保険を掛ける。
- ⑥ 調査団は、調査結果を速やかに報告する。

上記の趣旨をご理解のうえ、学会事務局 FAX 03-3435-8494、E-mail saigai@jsidre.or.jp までお申し込み下さい。様式は農業農村工学会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)よりダウンロードして下さい。多数のご参加をお待ちしております。

なお、登録いただいた個人情報、災害対応調査にのみ活用し、適切に取り扱います。

四季折々の美しい農業農村工学における土木施設・構造物で表紙を飾ろう!!
「水土の知（農業農村工学会誌）」平成24年秋季～冬季の表紙写真の募集

学会誌編集委員会では、平成24年も引き続いて皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。

趣 旨

わが国において、土や水を取り扱う技術の歴史は農業とともに発展してきました。農業の発展の過程で造られてきた幾多の土木施設は、農地を形成し、水を送り、物と人をつなぎ、連綿と我々の生活を支えてきました。これらの土木施設のいくつかは、長年の風雨にさらされながらも、機能を保ち続け、その地域の自然や文化に溶け込み、農村の景観を形成する重要な構成要素となっているものもあります。地域の人の悲願をかなえ続けてきたこれらの土木施設や構造物は、地域の人々によって大切に守り、管理された結果、四季折々に機能美と景観美を放ち続けているはずで

す。農業農村工学の現場で活躍される皆さま、日ごろ何気なく見過ごしているかもしれない農業農村工学における土木施設・構造物とそれを含み景観の美しさを再評価いただいて、忙しい業務の合間にも、足を止め、手を休めて写真として記録していただき、広く一般の方々にご紹介下さい。

記

1. テーマ

「農業農村工学における土木施設・構造物：先人たちの技術と苦勞が垣間見える造形美」

2. 対象巻号

学会誌第80巻（平成24年1～12月号）のうち、特に秋季～冬季のもの

3. 写真の種類

単写真、組写真いずれもカラープリントで（デジタルカメラの場合はJPEGファインモードまたはTIFFモードに設定）撮影して下さい（サイズは六ツ切）。組写真の場合は、その旨明記して下さい。

4. 枚数

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

5. 締切 平成23年3月31日（秋季～冬季の写真）

6. 審査 審査委員会（編集委員と写真家）で選考します。

7. 結果発表

学会誌第80巻第1号で採用作品と掲載号を発表し、採用作品は平成24年度大会会場でパネル展示します。

8. 謝礼

採用作品には規定の賞金（1点につき3万円）をお支払いします。また、応募者には記念品をお送りします。

9. 「Cover History（表紙写真由来）」について

採用作品の応募者には学会誌掲載の「Cover History（表紙写真由来）」をご執筆いただきます。ご執筆の詳細は、採用決定時に応募者に直接お知らせします。なお、些少ですが原稿料をお支払いします。

10. 使用権

採用作品の使用権は（社）農業農村工学会に属します。

11. 注意点

応募された被写体の季節が極端に偏ることから、募集する季節ごとに締切を設けさせていただきました。

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には、水利構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれること（花などの情緒物に埋没しないこと）、また、デジタル画像の場合は表紙に拡大したときにドット崩れしない十分な解像度があること、が採用の条件となります。

12. 応募方法および応募先

学会ホームページより、応募票をダウンロードし、タイトル、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、性別、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、撮影データ（フィルム、使用カメラ等）、対象物の固有名詞（固有名詞）、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付してお送り下さい。

なお、原則として、応募写真は返却しません。

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

（社）農業農村工学会

農業農村工学会誌編集委員会「表紙写真公募」係

☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494

E-mail : suido@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

学会誌編集委員会

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要

項」，「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿下さい。

学会誌 79 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A4判 1,500字以内)	原 稿 締 切 (刷上り 4ページ厳守)
79 巻 2 号 ため池における危機管理 (仮)	公募終了	
3 号 農村における生物多様性の保全 (仮)	公募なし	
4 号 地域に貢献する「水土」の改善 (仮)	公募終了	
5 号 土構造物および土中構造物数値解析とその適用 (仮)	公募終了	平成 23 年 1 月 10 日
6 号 大会関連	公募なし	
7 号 縮小する社会における農業農村整備のかたち (仮)	平成 23 年 1 月 25 日	平成 23 年 3 月 10 日

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌編集委員会あてにお寄せ下さい。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り 4 ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

79 巻 7 号テーマ「縮小する社会における農業農村整備のかたち」(仮)

わが国は人口減少の時代を迎え、経済成長も停滞が予想されている。さらに、現在食料自給率も上昇せず、コメ消費量も米価も低下し続けている。地方の過疎化や人口流出、高齢化も依然進行中であり、財政状況の悪化から公共事業費などの形で地方への財政支出は減少している。貿易黒字の確保の観点からは、貿易自由化への動きが今後更に強められることも予測される。このような状況下で地域の農村社会の好適な状態の維持は今後ますます困難になることが予測される。

しかしながら、新しい食料・農業・農村基本計画では国民全体で農業・農村を支える社会の創造を目指すとうたっている。またこれら政策は国家戦略として位置づけられている。このような時代背景の中、実現可能な近い将来の農業・農村の社会の

ます。

送付先 〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4
(社) 農業農村工学会 学会誌編集委員会あて
☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494
E-mail: henshu@jsidre.or.jp

イメージを描きながら、効果的に農業農村整備事業が実施されなくてはならない。また地域社会の振興につながるような整備であっても、今後の社会構造の変化を踏まえたコスト評価などが必要になると思われる。

以上のことから、これからのわが国の社会構造の変化を考慮して、農業農村整備がどうあるべきかについての意見、近い将来の農村集落のイメージ像や整備目標の考え方、社会構造の変化を意識した農業農村整備事例、事業に関わる土地改良区や地域住民の意向や意識のあり方、整備コストの抑制方法や圃場の維持管理コストの削減方法などについての報文を広く募集します。

国際学会「国際水田・水環境工学会」への入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering: PAWEES) は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊し、2010 年 12 月末に Vol. 8, No. 3 が発刊されます。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方々が国際学会へ入会されることを希望します。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑 (水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水 (排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全 (土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全 (水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能 (洪水調節, 地下水涵養など)

- ⑥ 生態系の保全 (水生, 陸生動植物の生態系)
 - ⑦ 地域計画 (農村計画, 土地利用計画など)
 - ⑧ バイオ環境システム (水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
 - ⑨ 水田の多目的利用 (田畑転換, 施設園芸)
 - ⑩ 農業政策 (農村振興, 条件不利地の支援策など)
- 水田農業を通じた国際的な研究交流, 情報交換の場として、皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと、会員には国際ジャーナルが、年 4 回無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag 社 (ドイツ)

発刊スケジュール: 2003 年 3 月創刊, 以後 3 カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000 円/年/4 冊 (送料等学会負担)

学生会員 (院生含む) 8,500 円/年/4 冊 (送料等学会負担)

申込先：農業農村工学会編集出版部 中村あて
 ホームページ：<http://www.jsidre.or.jp>
 ※入会のお申込は、学会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)

/publ/ij/scope.htm) の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ、メールまたは FAX でお願いいたします。

**国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと
 2009年1月から2011年12月までの編集事務局（投稿先）のお知らせ**

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering) は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2010年12月末に Vol. 8, No. 3 が発刊されます。

わが国においても学術誌の評価に、SCI (Science Citation Index) の IF (Impact Factor) が利用されており、本国際ジャーナルでも IF の取得により高い評価の定着を目指してきました。

また、世界 13 カ国から Editor (23 名) を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名な Springer-Verlag 社からの刊行です。掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の 4 種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、年 4 回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りませんが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

このような努力が実り、2009年12月、本ジャーナルがトムソン・ロイター社の SCIE に収録され、インパクトファクターを獲得したというビッグニュースが飛び込んできました。詳細については Editor-in-Chief による海外ニュースが本誌 1 月号 88 ページに掲載されていますのでご参照下さい。

2009年1月から2011年12月までの編集事務局（投稿先）は、台湾です。また、本年10月1日付で、これまで編集長を勤めていただいた中野芳輔先生から、溝口 勝先生に編集長の交代がありましたのでご報告します。

投稿先：Yu-Pin Lin, Ph. D., Professor

Department of Bioenvironmental Systems Engineering National Taiwan University
 No. 1, Sec. 4, Roosevelt Road, Taipei, 10617 Taiwan (R. O. C)
 E-mail: yplin@ntu.edu.tw
 TEL: +8862-2-3366-3467 FAX: +8862-2-2363-5854
 (During Jan. 2009 to Dec. 2011)

編集方針：水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水、土壌保全、土地資源や水資源の保全と管理、水田の多面的機能、農業政策、地域計画、バイオ環境システム、生態系の保全、水田保全、田畑輪換等である。

編集体制

- **Editor-in-Chief : Dr. Masaru Mizoguchi (Japan)**
 Graduate School of Agricultural Sciences, University of Tokyo, Tokyo, Japan
- **Editors** 13 カ国から 23 名
- **Editing Board** 35 名
- **Managing Editors**
Chief Managing Editor : Prof. Dr. Yu-Pin LIN
 Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Taipei, Taiwan, Rep. of China
Prof. Dr. Yoshiyuki SHINOBU
 Faculty of Agriculture, Kyushu University, Fukuoka, Japan
Prof. Dr. Haruhiko HORINO
 Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, Osaka, Japan
Dr. Kazunari FUKUMURA
 Department of Agricultural Environmental Engineering, Utsunomiya University, Utsunomiya, Japan
Prof. Dr. Jin-Yong CHOI
 Department of Landscape Architecture and Rural System Engineering, Seoul National University, Seoul, Korea

出版社：Springer-Verlag 社（ドイツ）

投稿資格：筆者全員が国際学会員であること。

投稿要領等：<http://www.jsidre.or.jp> に詳細を記載しています。

北海道支部第 35 回研修会の開催について

技術者継続教育プログラム認定申請中



農業農村工学会北海道支部では、11月17日（水）に予定しておりました研修会またはシンポジウムを延期し、ご参加を検討されていた皆様にお詫び申し上げます。このたび再度下記の要領で第 35 回研修会を実施することになりました。多くの

方々にご参加いただけるようお願いいたします。

1. 期 日 平成 23 年 1 月 19 日（水）9：30～12：00（予定）
2. 会 場 札幌市・北海道大学学术交流館
 （札幌市北区北 8 条西 5 丁目・北大正門すぐ）

3. テーマおよびプログラム

「改革を迫られる北海道農業」

1) 国際化と北海道農業

北海道商科大学商学部 阿部秀明教授

2) 北海道農業の現状と今後の展望

北海道大学大学院農学研究院 飯澤理一郎教授

詳細については下記の URL をご参照下さい。

http://www.agr.hokudai.ac.jp/nougyoudoboku/hokkaido-shibu/TOP.html

4. 参加申込み

下記様式により、E-mail、FAX または郵送にてお申し込み下さい。

参加申込締切は平成 23 年 1 月 11 日 (月) です。

所属機関 _____		
同上所在地 _____		
申込代表者 _____		TEL _____
氏名	所属	備考

5. 申込み・問合せ先

〒060-8589 北海道大学大学院農学研究院内

農業農村工学会北海道支部事務局

担当：柏木淳一 E-mail：kashi@envagr.hokudai.ac.jp

☎011-706-3641 FAX 011-706-2494

6. 参加費用

参加費 2,000 円 (当日会場にて申し受けます。)

北海道支部講習会の開催について (第1報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 日時 平成 23 年 1 月 19 日 (水) 13:00~16:30 (予定)

2. 会場 札幌市・北海道大学学術交流会館

(札幌市北区北 8 条西 5 丁目・北大正門すぐ)

3. 内容

- 1) 土地改良事業計画設計基準 計画「農業用水 (水田)」
- 2) 農村環境の広域的な保全に向けた構想づくりガイドブック
- 3) 機能診断の手引き (開水路), 機能診断の手引き (頭首工)

4. 参加申込み

下記様式により、E-mail、FAX または郵送にてお申し込み下さい。

参加申込締切は平成 23 年 1 月 11 日 (月) です。

所属機関 _____		
同上所在地 _____		
申込代表者 _____		TEL _____
氏名	所属	会員/非会員

5. 申込み・問合せ先

〒060-8589 北海道大学大学院農学研究院内

農業農村工学会北海道支部事務局

担当：柏木淳一 E-mail：kashi@envagr.hokudai.ac.jp

☎011-706-3641 FAX 011-706-2494

6. 参加費用

会員：3,000 円 非会員：4,000 円

第 48 回材料施工研究部会シンポジウムの開催について (第1報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 主催 農業農村工学会材料施工研究部会

2. テーマ 「ストックマネジメント導入における成果と今後の展開」(仮題)

3. 講師 農林水産省・研究機関・大学・自治体・民間の研究者および技術者 (予定)

4. 期日 2011 年 3 月 4 日 (金) 10:00~16:00

5. 会場 星陵会館

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2

http://www.seiryokai.org/kaikan.html

6. 参加費 4,000 円

当日、受付にて徴収させていただきます。

7. 申込み

以下の項目をご記入の上、FAX もしくは E-mail にてお申し込み下さい。その際、標題欄には「材料施工研究部会シンポジ

ウムへの参加申込」と明記して下さい。

①参加者氏名 ②所属機関名 ③所在地 ④ TEL, FAX, E-mail アドレス ⑤ 弁当 (代金 ¥1,000) 予約注文希望の有・無

8. 申込先 〒305-8609 つくば市観音台 2-1-6

農村工学研究所水利施設機能研究室気付

材料施工研究部会事務局

申込受付担当：中嶋 勇, 森 充広

☎029-838-7573 FAX 029-838-7609

E-mail：kinou@naro.affrc.go.jp

9. 申込締切 2011 年 2 月 18 日 (金)

10. 宿泊 各自で手配して下さいませうお願いいたします。

11. 問合せ先 申込先と同じです。

12. その他 詳細は、学会誌次号に掲載予定です。